

ニュース・レター

NO18
2015年新春号

おやじ日本

今年もできるだけのことをやり抜きたい

新年おめでとうございます。ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、おやじ日本が任意団体として産声を上げたのが平成16年6月。今年は12年目を迎えることとなります。この間、認定NPO法人となり、正会員数も140名を超えるなど、順調に発展してきました。紆余曲折もあり、苦しい時期もありましたが、子どもたちに何かしたい、何かができる、たとえ小さな力でもという思いで、誠実に活動を続け、また、その活動を支えてくださった多くの方々の力があつたからだと思います。ありがとうございました。

元始会員はおやじから爺、婆になりつつありますが、忙しい仕事を縫って、びちびちのお父さんたちも加わり、まだまだやっていけるぞと喜んでいます。

おやじ日本は何をやる団体ですか、とよくたずねられます。子どもたちのためなら何でもやるんですよ、と答えますが、その例として皆さんによくご理解いただけるのは、「未来教室」事業です。

昨年は、この事業に日本財團のご支援をいただきました。子どもたちが、将来生きていく実社会で戸惑い、挫折することのないよう、社会の現実とそこで求められているものを企業の方々に直接伝えてもらおうというものです。3年前から進め、既に1万人を超える子どもたちに「未来教室」を受けていただきました。一度始めると多くの学校で毎年依頼され、また、転校された担当の先生からお話をあって新しい学校で始まるという流れが生まれています。今年もまた、この事業を中心に取り組んでいくこととなります。

また、最近のスマートフォンの子どもたちへの影響の広がりに、多くの方々が心配しています。科学技術の進歩と人間の生活についての古くからある問題だといえばその通りですが、これが子どもたちを巻き込んで、便利さを超えた悪影響を及ぼしており、次世代を担う人間に成長していくのかとも感じます。そこで、おやじ日本は、かねて携帯電話が普及し始めたときに進めた「iS運動(インターネットセイフティ運動)」に改めて取り組むこととしました。本年6月28日(日)に開催するおやじ日本全国大会のテーマは、「スマートフォンと子どもたち」です。既に学者、警察、学校現場等の方々からお話を聞くなど勉強を進めていますが、どうしたらよいかは簡単ではありません。確かなことは、こういう難しい問題の解決は、行政など誰かがやってくれることではなく、親、先生、地域の方々など子どもに関わる大人が知恵を出し合って、あきらめずに努力することだと思います。その際に、現状はどうか、何が問題なのか、問題解決のためにどういうやり方が考えられるのかなどについて、しっかりと知識、スタンスを持つことだと思います。この大会がお役にたつものなるよう、しっかり準備を進めます。

こんなおやじ日本に、皆様のこれまで以上のご支援をお願い申し上げます。

是非ご参加下さい！

★平成27年新年互礼会

日時：平成27年1月5日(月)午後6時～
場所：おやじ日本事務所



←↑昨年度互礼会

★第13回全国大会

日時：平成27年6月28日(日)午後
場所：渋谷区内(予定)
テーマ：「スマートフォンと子どもたち」



★平成27年度正会員交流会

日時：平成27年9月中
場所：調整中 (詳細は追ってお知らせします。)

入会及び活動参加をご希望の方は事務局までご連絡下さい。

Tel & ファクス 03-3462-7113

mail desk@oyaji-nippon.org

ホームページ <http://oyaji-nippon.org/>

iS運動(*)の取り組みについて

担当理事 森田孝明



*: おやじ日本では、携帯やインターネットの新たな危機から子どもたちを守り、子どもの被害を未然に防ぐために、iS運動に取り組んでいます。iはインターネットのi、SはセーフティのS、地域安全運動のインターネット版です。



1. 今、ケータイで何が起こっているの？

電車に乗って回りを見ると、8割の人が携帯電話（以後、ケータイと記す）を手にしています。

車内で電話をしている人は、見かけなくなりましたが、…

レストランでは、料理が運ばれてくると、まず、ケータイでパチリ。会話をするでもなく、ケータイを触りながら、料理を口に運んでる人をよく見かけます。街中でも、ケータイを片手に歩いている人がいます。

こういう大人を見て育った子供たちは、将来、どんな大人になるのでしょうか。

また、セキュリティ事故やコンピュータ犯罪は、増える一方で、毎日、どこかで犯罪が起こっているといつても過言ではありません。たとえば、インターネット検索ツールGoogleで“携帯”“犯罪”と入力すると500万件以上もヒットします。

子供たちにケータイを与えた瞬間から、子供たちは大人がやっていることを真似、犯罪の加害者にもなってしまう恐れさえあります。

2. ケータイ・インターネット安心安全教室を開講

ケータイの怖さを子供たち、お父さん、お母さんに知つてもらおうと、警察や携帯電話会社の人たちを呼んで講演会を開催しました。すばらしい内容のお話でしたが、ケータイ問題児のお父さんやお母さんは、顔を出していました。子供たちは、神妙に話を聞いていましたが、…

変なメールを受信したとき、子供たちはどういう行動をとるのでしょうか。顔写真や名前をインターネットに掲示している子供たちがいますが、掲示することの良し悪し、影響を考えて掲示しているのでしょうか。

私たちは、一方的に、ケータイの危険性を訴えて、ケータイをやめろというつもりもありません。子供たちは、ケータイに振り回されることなく、ケータイについて自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる人間として、ケータイを使ってもらいたいと考えています。

そのために、私たちは、子供たちが、学校や家庭でケータイについて考える場を与えたいと思っています。

具体的には、ケータイについての問題事例を子供たちに提示し、その事例について子供たち自身が考え、子供たちが話し合い自分たちの結論を出し、みんなに発表するという授業を行っています。ケータイについての問題事例は、今、学校で起こっている問題を中心に、マスコミ等で話題になっているものを取り上げています。

3. おやじの会の活動に

各学校のおやじの会では、子供たちと遊ぶ時間・場所を持ったり、子供たちの安全のために夏休みの見回りをしたりと活発な活動をしていることと思います。おやじ達が集まって、酒を飲んで、おやじ達が顔見知りになることも、地域健全化のためには必要なことかもしれません。でも、何か足りないと思っている人たちも多いのではないか。おやじの会への参加を躊躇している方も…

そこで、私たちは、おやじの会の人たちが、地域の子供達を、直接、指導する場を作れたらと考えました。具体的には、ケータイ・インターネット安心安全教室をおやじの会の人たちに実施してもらおうとしています。ケータイ・インターネット安心安全教室の教材と先生が話すシナリオは、おやじ日本が提供します。おやじの会の人たち向けの事前の勉強会・講習会もあります。

昨今、土曜日授業が盛んに行われており、授業時間を埋めるのに苦労されている学校がたくさんあることも聞いておりますので、地域のお父さんが先生をやってくれると知れれば、間違いなく依頼が来ることでしょう。

おやじの会の活動イベントとして、ケータイ・インターネット安心安全教室が、毎年、計画されるようになれば、おやじの会の活動の幅も広がり、認知度も上がると思います。

子供たちが、家に帰ってきて、「今日、ケータイの事を○○君のお父さんに教えてもらったんだ。」「写真をインターネット掲示板に出すどうなるか知ってる。」っていう会話がされたら素晴らしいと思いませんか。

私たちは、ケータイ・インターネット安心安全教室を開講するだけでなく、各地のおやじの会と連携し、ケータイ・インターネット安心安全教室の先生を作るための講習会を、多数、行っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

～全国大会に向けて～ 「スマホ問題勉強会」を実施

昨年7月より、iS(アイエス/インターネットセーフティ)運動チームを中心に、スマホ問題について学者、警察、学校現場等の方々からお話を聞くなど勉強会を4回実施。11月の渋谷くみん祭りでご協力頂いたアンケートと併せ、スマホの利用状況や友人との関わり、学習時間を含む生活時間との関連などの現状、実態の把握を通して、子どもたちにどのような影響があり、問題解決に向けて大人社会は何を求められているのかについて議論を重ねています。

(アンケート結果はP7に掲載)

子どもたちと社会とを結ぶ架け橋たらん！

未来教室担当
副理事長 納富善朗

おやじ日本が「学校で子どもたちに社会の息吹を伝える新たな取組みを！」と唱えて平成23年度に着手した「未来教室」(小中学校と企業との連携によるキャリア教育の支援活動)は、おかげさまで年を追って広がり、昨年12月末現在、延べ102校で実施し、児童生徒10,017名が受講しました。

以下は受講後の感想の一部です（詳しくは、ホームページをご覧ください）。

「授業を受けて、みんなのために今何ができるのかに目を向けてじっくり考えていくこうと思いました。」「相手が何をしたいのかを常に意識しているという話を聞いて、私も人気や評判だけでなく、人の気持ちになって考えられる仕事に就こうと思いました。」「今まで、あいさつは、適当に頭を下げて終わっていましたが、これからは、しっかり声を出してあいさつができるようになります。」「いろんなことを知っていても行動を起こさなければ何も始まらないことを学びました。これは環境問題だけではなく、勉強や部活にもつながることだと思います。」「今回学んだのは英語の大切さです。僕には耳の痛い話ですが、グローバル化が急速に進む時代。僕はしっかり英語に向き合うことを誓います。」

児童生徒が、企業の第一線で活躍する方々の本物の話に耳を傾け、仕事観、社会人に求められる資質、人との生き方など、教科書では得られない生きた学習をしていることがよく分かります。「未来教室」は着実に成果をあげています。

子どもたちと社会とを結ぶ架け橋たらん！おやじ日本は、意欲的な学校や企業の方々との輪を広げ、担任の先生からは聞けない話や実社会の息吹を伝える取組みを一層強力に進めて参ります。

未来教室実施報告(10月～12月)

日時 学校名

10月2日(木)	杉並区立高井戸小学校
10月7日(火)	府中市立府中第五中学校
10月16日(木)	渋谷区立臨川小学校(株)
10月21日(火)	町田市立小山中学校
10月22日(水)	小金井市立小金井第一小学校
10月25日(土)	目黒区立宮前小学校
11月7日(金)	渋谷区立代々木中学校
11月8日(土)	渋谷区立笹塚小学校
11月8日(土)	杉並区立井荻小学校
11月11日(火)	渋谷区立臨川小学校
11月13日(火)	練馬区立大泉中学校
11月22日(土)	杉並区立方南小学校
11月25日(火)	杉並区立杉並第四小学校
11月27日(木)	杉並区立杉並第三小学校
12月11日(木)	渋谷区立臨川小学校
12月12日(金)	目黒区立第八中学校
12月13日(土)	墨田区立両国中学校
12月13日(土)	渋谷区立神南小学校

協力企業

(株)ゼンショーホールディングス
リーガロイヤルホテル東京
(株)テレビ東京ホールディングス
リーガロイヤルホテル東京
キッコーマン(株)
アンダーワークス(株)他
リーガロイヤルホテル東京
読売新聞東京本社
日本アイ・ビー・エム(株)
ヤマト運輸(株)
リーガロイヤルホテル東京
キューピー(株)
(株)テレビ東京ホールディングス
ワタミ(株)
ワタミ(株)
リーガロイヤルホテル東京
読売新聞東京本社
東日本旅客鉄道(株)



未来教室今後の予定

日時	学校名
1月13日(火)	世田谷区立中町小学校
1月14日(水)	練馬区立練馬東小学校
1月19日(月)	目黒区立第八中学校
1月23日(金)	杉並区立杉並第四小学校
1月24日(土)	杉並区立杉並第四小学校
1月26日(月)	目黒区立第三中学校
1月31日(土)	墨田区両国中学校
2月4日(水)	渋谷区立神南小学校
3月14日(土)	杉並区立高井戸小学校

協力企業

(株)テレビ東京ホールディングス	(株)JTBコーポレートセールス
リーガロイヤルホテル東京	
(株)三井住友銀行	(株)竹中土木
(株)パナソニック	(株)幻冬舎
東日本旅客鉄道(株)	
リーガロイヤルホテル東京	
東レ(株)	(株)パナソニック
(株)明治	(株)ゼンショーホールディングス
ワタミ(株)	

防災教室開催！

防災教育支援所

防災教室担当理事 寺澤恵太郎

おやじ日本は、11月12日(水)渋谷区立外苑原宿中学校1学年の総合学習の「災害に備えよう～助けらる側から、助ける側へ」の授業を支援しました。担当の養護教諭と7月から事前調整を進め、授業のねらい、指導計画に基づき準備を推進し、当日はゲストティーチャーとして5名の会員を派遣協力しました。

当日の授業は渋谷区内中学校の担当教諭の研修授業でもあり10数名の研修者の中で行われました。導入ではゲストティーチャーの自己紹介、その後DVDで東日本大震災時の釜石市の中学生が近隣の小学生の手を引いて避難して、地域防災の助ける手として多大な力を發揮したという内容を視聴した。

防災や減災には自助・共助・公助の考え方があり、その中でも自助・共助が重要であることを学び、その上でおやじ日本第12回全国大会時の宮城県気仙沼市立階上中学校の被災した中学生との生の声のスカイプの会話を視聴して、災害弱者の存在を知り自分たちがどの様な手の差し伸べ方が出来るだろうかを学びました。

その次に我が家の防災・減災ストーリー作り、耳の不自由な方、言葉の通じない外国人等とのコミュニケーションになるようにおやじ日本が作成した、コミュニケーション・フラッグの紹介、その後渋谷区の繁華街の特性を踏まえ、困っている外国人と、コミュニケーション・フラッグや身の回りの物を使って、与えられた事例を解決する実習を各班毎にしました。授業間ゲストティーチャーは各班に助言指導の支援をしました。

おやじ日本として本支援を通じて学校・生徒・地域の特性を考慮した幅広い防災・減災支援が出来る様積極的に防災活動を推進したい。

生徒たちの感想（抜粋）

まず、自分の身は自分で守ること、小さな子やお年寄りが困っている人がいたら進んで助けること、家でもきちんと準備しておくこと、防災について学んでおくことが分かった。そのことを普段の生活でも生かしていきたいです。



自分たちは災害が起きたら、大人に頼るだけでなく、自分たちで行動して助ける人にならないといけないのだなと分かった。

また、助けるというのは、力仕事だけでなく避難場所の案内など、やれることがたくさんあることが分かった。



防災のことについて、自分が助けるという側で考えたことがなかったのでためになつた。家族と万が一の時どうするかを話し合う必要があると思った。



コミュニケーション・フラッグに感動しました。外国人を助けようとした時、自分の知っている単語、今話せる英語使って体調などを聞き出すことができるようになりたいなと思いました。



コミュニケーション・フラッグを使ってシュミレーションをして、自分がハラル食材しか食べられないことを伝えた。でも、自分が困っていることを伝えなければいけないということは、人が困っていることを聞き出すということと同じくらい大変だった。いざという時に一人でも多くの人を助けるようにしたいと思う。

おやじ日本のコミュニケーション・フラッグは、いくつもの言語やイラストで分かりやすく、すぐ伝えたいことを伝えられるので、コミュニケーションをとる相手と分かり合えるので重宝するだろうなと思った。



～広がれおやじネットワーク～

◇◆◇おやじ日本広島◇◆◇

「広島の土砂災害に際して」

おやじ日本広島会長 堀川 寛

2014年8月20日未明に広島市北部一帯で発生した大規模な土砂災害は、74名の尊い人命と500戸を超える家屋(全壊約500戸)を破壊し、広島市における戦後最大の自然災害となった。幸い、おやじ日本広島の会員やその関係者で被災した者はいなかったが、身近で起こった惨劇に心を痛めた。

この大災害に際し、おやじ日本広島では、会長を務める堀川寛牧師が室長となった「キリスト教会・広島土砂災害支援室」と協力して支援活動を実施した。会長の教会が所有する建物(旧カルビー製菓社長宅)はボランティアセンターとなり、全国から支援に訪れた有志の滞在場所となった。支援室は広島市社会福祉協議会とも連携しながら、しかし独自の支援活動を展開し、安佐北区可部東地区と安佐南区八木地区を中心に延べ1200名以上のボランティアを派遣した。

土砂崩れのことを「山つなみ」と呼ぶそうだが、被災直後の現場は東日本大震災直後と似たような惨状だった(写真1)。土砂の直撃を受けた家は跡形もなくなり、流された家屋や家財、車などが下流にうずたかく積み上がっていた。ワゴン車ほどの岩や一抱え以上の巨木も混じり、土石流のパワーのすさまじさを物語っていた(写真2)。



被害の大きい地域は、素人の手に負える状況ではなかったので、支援活動は比較的被害の小さい地域(土砂の流入が1メートル以下)に対して行われた。最初はとにかく家の中や周囲、そして道路や側溝の土砂を撤去する作業に追われた(写真3)。

←写真3



↑写真1→
↑写真2

土砂は重く、土嚢袋に半分も入れると持ち上げられないほどであった。有害物が含まれていたのか、かぶれたり、のどを痛めたりする者も出た。一週間ほどすると小型の重機が入り始め、土砂出しの作業は一気に進んだが、家と家の間や床下など、重機の届かない場所の土砂は人海戦術に頼らざるを得なかつた。

土砂の撤去が一段落すると、泥汚れの清掃と消毒作業が始まった。この頃「火事場泥棒」が横行したため、被災者のお宅に入っての作業は非常に神経を使つた。一番大変だったのは床下の泥出しと洗浄であった(写真4)。わずかでも汚泥が残っているとカビや腐食の原因になるので、徹底的に行わねばならなかつた。床が壊れている場合には、床をはがし、壊れていない場合には床下に潜って作業した。



壊れた家屋の修理は、基本的に持ち主の責任で行わなければならないが(費用の一部は助成される)、すぐに引き受けってくれる業者を探すことは至難の業であった。そこで支援室では、東日本大震災後の復興も手がけた大工を呼び寄せ、床の修復作業を行つた(写真5)。被災直後には立ち上がる気力さえなくしかけていた被災者も、綺麗になり修復された家を見て、「また住もうと思います」と語られた。

直近の支援活動は約一ヶ月で終了したが、被災地の本格復興はこれからである。おやじ日本広島では今後も様々な形で支援活動を行つてゆきたいと考えている。

↑写真5



↑写真4

◇◆◇おやじ日本山形◇◆◇

「おやじ日本山形」の活動について(26.3~26.12)

おやじ日本山形代表 和田英光

今年の「おやじ日本山形」の活動も、12月5日開催の四回目の例会を最後に今年の活動も終了し、来年に備えます。今年の活動に関連して特に報告をしたい事は、今夏、甲子園球場を舞台に開催された全国高等学校野球選手権に山形県代表として出場した山形県立山形中央高校のこと。昨年11月に開催された「おやじ日本山形大会」にパネラーのお一人としてご出席された同校野球部の庄司監督、また御招待された同校野球部の20数人の部員諸君。竹花理事長はじめ、壇上の皆さんと、生徒さんとのやり取りもあり大変印象的な大会となりました。



その山形中央高校が県大会ではノーシードながら見事な戦いを展開、決勝戦では9回まで2対0でリードされていた試合を奇跡的に逆転、県代表となりました。御承知のように甲子園での戦いぶりは山形県民の心を一つにさせ、テレビにぎりぎりまで注目されました。健闘むなしく三回戦には進むことは出来ませんでしたが、公立高校でありながら甲子園で2勝、その堂々たる戦いぶりと、勝っても相手チームに敬意を払いガッツポーズもせずに、凛々しく振舞う姿に称賛の声が上がりいました。ある新聞記者からは高校生らしくないとする声も上がりましたが、単に表面づらうことや、にわか作りのことではなく、その裏にはしっかりと継続されていることがあった……。勝利の極意は、日々の清掃、野球部員は昼休みを利用して、部室と体育館脇のトイレ掃除を行い、グラウンドを整備する。「日本を美しくする会」の山形での活動にも積極的に参加。トイレ磨きは心磨きと汗を流す。地域のボランティア活動にも力を入れ、挨拶もしっかりと。論語も含め、監督のもとで学んだ礼儀作法の心が浸透し、それらが裏付けになっている。ともすれば強ければいい、勝てばいいという気持ちが優先されるような風潮の今、本当にすがすがしい気持ちにさせてくれました。将来を背負って立つ若者達……。「おやじ日本山形」の活動とも相まって意を強くしたところです。「おやじ日本山形」今年も頑張ります!!



←昨夏、甲子園で大活躍！！→
山形県立山形中央高校野球部の皆さん
(平成24年11月山形大会にて)



◇◆◇豊橋おやじネットワーク◇◆◇

豊橋のおやじの会の活動

栄おやじの会 渡辺嘉郎

■ “ゲゲゲの妖怪大戦争”

昨年同様11月3日文化の日に豊橋市郊外の少年自然の家で親子汗を流すイベントを行いました。豊橋の小中学校すべてに募集をかけ、昨年より2校多い15の小中学校から親子合わせて250人が参加、おやじ妖怪対子どもの戦闘を行いました。午前中にビニール袋でちゃんとこを作り、午後対戦。昼食は昨年同様のおやじ自慢のアウトドア料理：石窯で焼くピザ、カルボナーラ、焼そば、いなり寿司、唐揚げ、杏仁豆腐、メレンゲケーキ、その場で焼くバウムクーヘンと今年も好評でした。妖怪ウォッチの効果で参加を増やす事成功にしました。



■「大逃走中 in のんほいパーク」大成功！

テレビでおなじみの逃走中をもじり豊橋総合動植物園で2013年12月22日日曜日に開催しました。約150人の子どもたちをおやじ扮するハンターが追いかけましたが、転倒するおやじ続出で子どもたちに手玉に取られました。しかしながらケータイに送られるミッション、真剣に追いかけるおやじと必死に逃げる子どもたちのスリル満点のイベントは大好評！普段やらなくなってしまった鬼ごっこを実感できたイベントとなりました。賞品のブラックサンダーも大好評。ただ、後ろ向きで逃げたところ鉄塔に頭をぶつけて救急搬送された子どもがいたことは反省点で、幸いただの打撲ですみましたが、改善が必要。事故があり存続があやぶまれましたが、子どもたちに交通安全ヘルメットを着用させることで動物園側の理解を得られ2014年12月21日に第2弾を行う予定です。



■「愛知おやじサミット in 豊川」開催予定

2015年3月14日豊川市小坂井文化会館にて開催が決定しました。講師として宮本延春(まさはる)先生のお話をいただきます。宮本先生は地元出身で小学校中学年からいじめにあい、おちこぼれ、中学ではオール1。両親に先立られ、孤独となりましたが、アインシュタインのビデオをきっかけに物理学に興味を持ち、勉強に目覚め、猛勉強の末、難関の名古屋大学に合格、使命感を持ち、母校の豊川高校の先生になった方です。「子どもを育む環境を作るのは大人の責任」と講演をいただきます。13時30分より開催致します。興味のある方は是非ご参加ください。連絡先:oyaji-info@oyaji-net.jp

第37回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバルに参加！

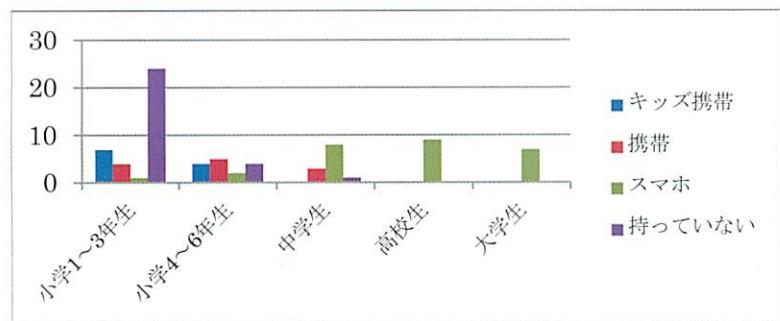
おやじ日本は、昨年11月2日(日)、国立代々木公園B地区周辺にて開催された「第37回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバル」(主催:渋谷区くみんの広場実行委員会 共催:渋谷区・渋谷教育委員会・NHK)に、テント出店致しました。今年度で5年連続の参加となりました。

「83運動」「iS運動」ポスターを展示、毎年好評を頂いているバルーンアート(風船で動物、花などを作製する)を子ども達のために作製し、保護者の方々にインターネット関連問題、特にケイタイやスマホの利用に関するアンケートのご協力を頂き、約193名の方々に回答頂きました。(回答率100%)アンケート結果については今後の活動に生かしていく予定です。ご協力頂きました皆さんに心より御礼申し上げます。(下記に集計結果抜粋掲載)

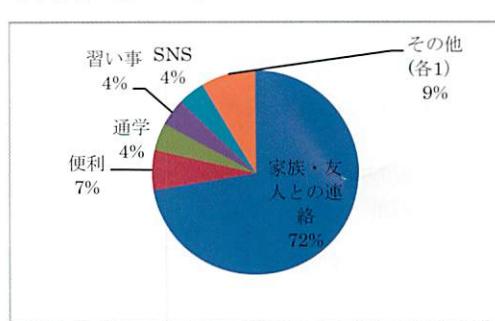


渋谷区くみんの広場・来場者アンケート集計結果(抜粋)回答者数193(回答率100%)

問1. 子どもの携帯電話(PHS、スマホを含む)所持、利用状況

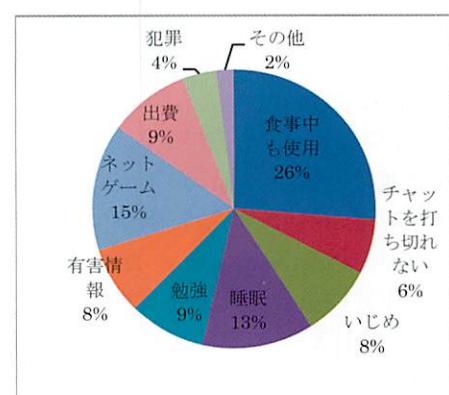


○利用のきっかけ



問2. スマホ使用について身近に発生したこと、問題と感じていること

- ア. 食事の間なども含め、スマホを四六時中チェックしている。
- イ. お友達などとのチャットを打ち切ることができない。
- ウ. スマホを介していじめが発生した。
- エ. 睡眠時間が減った。
- オ. 勉強時間が減った。
- カ. わいせつな画像や残虐な画像などの有害情報や違法情報に接触した。
- キ. スマホによるゲーム(ネットゲーム)をなかなかやめることができない。
- ク. アプリの購入、ゲームやネットショッピングなどで出費がかさんだ。
- ケ. 犯罪に巻き込まれた(犯罪の加害者あるいは被害者になった)。
- コ. その他(目が疲れる。電車の中、歩きスマホ)



恒例の正会員交流会

昨年、9月20日(土)午後4時から、正会員交流会が渋谷東武ホテル地下1階の「竹園」にて開催されました。宇都宮啓正会員の進行により、竹花理事長が活動へのご協力のお礼と活動状況について報告。その後、参加された皆さん全員から近況のお話があり、和やかに懇談が続きました。



↑司会は宇都宮啓正会員



↑日本を美しくする会の千種副会長
阿部豊事務局長



乾杯の音頭は
伊東一吉副理事長→



↑閉会の挨拶をする
二村好彦副理事長

◇◆ 活動報告 ◆◇

☆平成26年度定例理事会

第2回定例理事会 9月21日(土)

審議事項

渋谷区くみんの広場実行委員会設置について
報告事項

第12回全国大会事業及び決算報告について
第12回全国大会実行委員会解散について
役員費用弁償について
未来教室について
防災教室について
iS運動について(第13回全国大会に向けて)
83運動について
その他

第3回定例理事会 12月20日(土)

審議事項

第13回全国大会実行委員会設置について
報告事項
活動助成申請について
その他

☆スマホ問題勉強会

第1回 7月14日(月)
第2回 9月26日(金)
第3回 11月12日(水)
第4回 12月20日(土)



☆防災教室

第1回 日時:11月12日(水)

場所:渋谷区立原宿外苑中学校



←9月度運営委員会



7月度運営委員会

←昨年の第12回全国大会



☆今後の予定

平成27年互礼会 目時:平成27年1月5日(月) 午後6時~ 場所:おやじ日本事務所
1月度運営委員会 日時:平成27年1月24日(土) 午後1時~ 場所:おやじ日本事務所
2月度運営委員会 日時:調整中 場所:おやじ日本事務所
平成26年度第4回理事会 日時:調整中 場所:おやじ日本事務所
3月度運営委員会 日時:調整中 場所:おやじ日本事務所
第13回全国大会 日時:平成27年6月28日(日) 午後 場所:渋谷区内(調整中)

賛助・寄附のお願い

おやじ日本は活動の趣旨に賛同して下さる方に賛助・寄附を募っております。皆さまからのご理解とご支援を頂きたく、お願い申し上げます。おやじ日本は、国税庁から認定NPO法人(国税庁課法11-86)として認定されていますので、おやじ日本に対して寄附または贈与された方につきましては、所得税、法人税または相続税上の課税について、寄付金控除等の特例が適応されます。賛助のご協力を頂ける方は下記振込先にご入金をお願い申し上げます。

みずほ銀行新橋中央支店 普通2059554 口座名 おやじ日本

ゆうちょ銀行 00150-9-631618 口座名 おやじ日本

必要とされる方には領収証を発行させて頂きます。ご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

★83運動、アイエス運動などを各地域で実施されている方は、ぜひご連絡下さい。ニュースレター等で紹介させていただきます。☆おやじ日本では、引き続き、正会員・登録会員・賛助会員を募集中です。申込みは事務局までお願いします。

【発行】認定特定非営利活動法人おやじ日本

住所 〒150-0042 渋谷区宇田川町5番2号 渋谷区役所神南分庁舎3階

電話&ファクス 03-3462-7113

ホームページ <http://oyaji-nippon.org/>

事務局担当理事 小山 洋子 desk@oyaji-nippon.org

事務局 丸山 容子 大喜滋子

ここに記載の内容は全て無断転載を禁じます

